

テクノケア ∞ 北九州

技術でつなぐ、暮らし&ケア

未来の介護を創造する新拠点へ！

市民の皆さまに長年親しんでいただいた

「福祉用具プラザ北九州」が、

愛称を新たに「テクノケア北九州」として

リニューアルオープンいたします。

テクノケア∞北九州

Renewal Opening

「テクノケア北九州」から広がる 介護の未来

政令指定都市の中で最も高齢化が進んでいる北九州市では、平成11年に介護実習・普及センターを開設し、福祉用具を展示するとともに、専門職による一人ひとりの状態にあった利用方法の助言や介護の知識を学ぶ研修を開催するなど、相談支援の充実に努めてまいりました。ピーク時には、年間2万人ほどが利用し、市民が気軽に相談できる場所として、一定の役割を果たしてきたと考えています。

この度、更なる高齢化の進展を見据え、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく豊かな生活を送り続けられるよう、新たに、介護ロボットやICT機器などの新しいテクノロジーの活用を促進し、「ひと・モノ・住まい」の点から専門職が支えていく「在宅生活支援拠点」としての機能強化を図りました。

「テクノケア北九州」は、皆さまの暮らしを支える新しい施設として、これまで以上に充実したサポートを提供してまいります。

ロゴマーク・イメージカラー

テクノケア∞北九州

技術でつなぐ、暮らし&ケア

介護と技術を融合させ、皆さまの暮らしとケアを支える新しい拠点という思いを込めて、愛称を「テクノケア北九州」といたしました。

また、サブタイトルについては、介護（ひとの技術）とテクノロジー（モノの技術）の両面で、在宅の暮らしとケアをつなげていくという思いを込めています。

「やさしくつながる、未来への支援」を表現しています。



無限記号をベースにしたモチーフは、地域や人との「つながり」や「継続的な支援」を象徴し、テクノロジーとケアを融合させながら、地域社会とともに歩む未来志向のブランドイメージを描きます。

イメージカラーは、「ターコイズブルー」です。

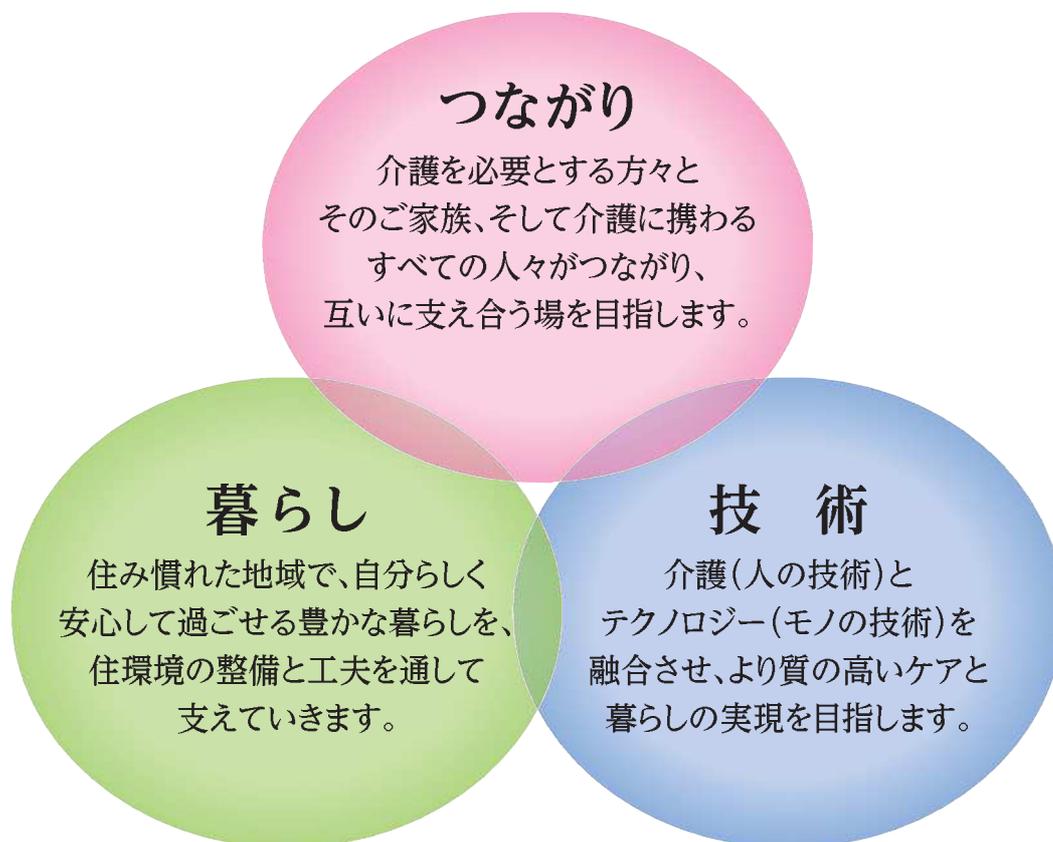


ターコイズブルーは、安心感・清潔感・信頼感・親しみ・未来を表現しています。モチーフとともに、未来志向のブランドイメージと合わせたカラーイメージです。

「テクノケア北九州」が目指すもの

テクノケア北九州は、「住み慣れた地域での暮らしを支える在宅生活支援拠点」として、高齢者や障害のある方、そのご家族をはじめ、医療・介護の専門職や企業など、介護に関わるすべての人々をつなぐ場を目指しています。

「ひと(介護技術)」「モノ(最先端の介護機器・福祉用具)」「住まい(安全で暮らしやすい住環境)」の3本の柱を軸に、専門職が一人ひとりの生活を支援。市民の皆さまが安心して地域で暮らし続けられる社会の実現を目指します。



コンセプト

ケアを提供する人、ケアを受ける人、そして企業や大学など、介護に関わるすべての人々が互いに連携し、学び合い、支え合う「共創の場」を目指します。

バリュー

一人ひとりの暮らしを大切に、「ひと」「モノ」「住まい」の3つの柱を軸に、専門職が確かな知識と技術で支援します。

新しい「テクノケア北九州」の充実した支援機能

展示 最先端介護機器・ユニバーサルデザイン

約800点

「新しい暮らし体験」

これからの暮らしをもっと安心して快適にするために、福祉用具や介護機器、最新のICT・IoT技術を取り入れた「モデルルーム（リビングや寝室など）」を設置します。

ここでは、「使いやすい家電や家具」、「見守りセンサーや自動照明などの便利な機器」、「認知症の方にもやさしい色づかいや配置」といった工夫を実際に見て、触って、体験することができます。

「支援機器フィッティング」

車いすや歩行器、浴室やトイレの補助用具、会話や見え・聞こえを助ける機器など、暮らしを支えるさまざまな用具を展示しています。専門スタッフが、一人ひとりのニーズに合わせて用具や使い方を丁寧にアドバイスします。

相談支援 専門職チームによるワンストップ対応

「専門職チーム」による相談支援

作業療法士や理学療法士、介護福祉士、看護師、社会福祉士などの専門スタッフが、一人ひとりの状況や希望に合わせて生活や介護の相談に応じます。

生活の場への「訪問支援」

自宅や病院、介護施設などを専門職が訪問し、実際の生活環境に合わせた助言や提案を行います。

研修・講座

充実した「研修・講座」

人生100年時代を見据え、住み慣れた地域で自分らしく、いきいきと暮らし続けられるように、介護の知識から最新の介護テクノロジーまで、幅広い内容の研修や講座を実施します。

技術開発 介護テクノロジー

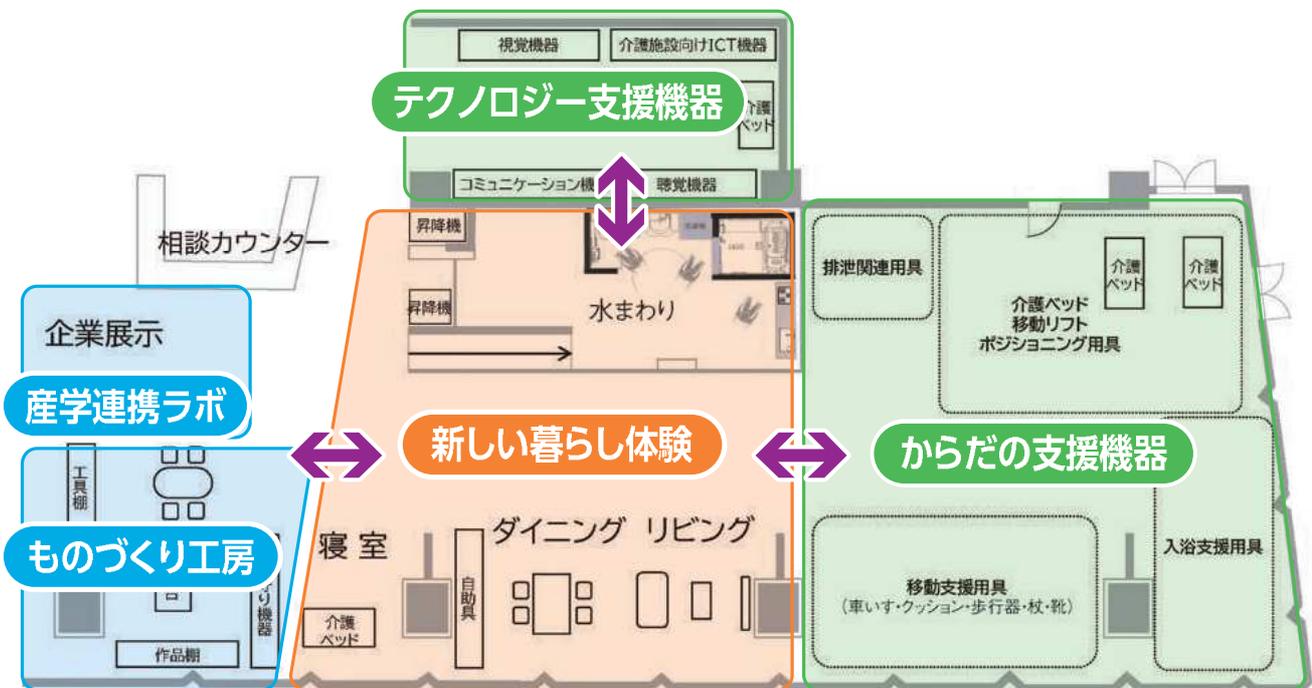
「産学連携ラボ・ものづくり工房」

当事者をはじめ、医療・福祉関係者、大学、企業などと連携し、介護テクノロジー機器の活用を推進します。

また、「技術のまち」としての強みを生かし、利用者のニーズに沿った機器開発へとつなげていきます。

展示の概要

「新しい暮らし体験」ゾーンを中心に、利用者のニーズに合わせて各ゾーンを利用しながら、専門職チームが相談支援を行います。



認知症にやさしいデザインの導入

テクノケア北九州は、「認知症にやさしいデザイン」を取り入れ、高齢者をはじめ、すべての市民の皆さまが安心して利用できる環境へと改修しました。

例えば、以前は床の反射が強く、奥行きや段差が分かりにくい箇所がありましたが、床面の素材を見直し、光の反射を抑えることで、落ち着いた空間に生まれ変わりました。

また、利用される方の動線を考慮し、見やすいサイン表示の設置や、色のコントラストを工夫した家具の配置など、使いやすさにも配慮しています。

ぜひ、別冊の「自宅でのこちよい空間づくり(認知症にやさしいデザインの事例)」とあわせて、館内をご見学ください。



改修前の床面



改修後の床面

新しい暮らし体験

リビング | テクノロジーで心地よい、あんしんリビング

コミュニケーションロボット

生き物のような生命感を持ったケアロボット。カメラで様子を見守る「ゆるい見守り」機能を搭載。



ソファ

床や壁面との視認性が高く、立ち座りや車いすからの移乗をサポート。



見守り照明機器

センサーによる人の転倒を検知し、アプリでお知らせ。音声、人感センサーによるオン・オフが可能。



ゲーム機器コントローラー

重度の障害がある方がゲーム機器を操作できるアクセシビリティ機器。



立ち上がり手すり

ソファや布団のそばなど場所を選ばず、床に置くだけで立ち上がりをサポート。



スマートスピーカー①

周辺のICT・IoT機器を音声で操作、オンライン通話も可能。



スマートプラグ

家電製品のオン・オフを操作。



玄関ビデオドアホン

スマートスピーカーを介して来訪者と顔をみながら会話が可能。



テレビ

音声操作や読み上げ機能に加え、家電の動作状況や暮らしの予定を声で知らせる「音声プッシュ通知」機能を搭載。



玄関ドアロック ドアロックの開閉

スマートスピーカーを介してドアロックの開閉が可能。



ダイニング | みんなで囲む、笑顔と元気の食卓

食器棚

車いすでも使いやすい高さや設計。扉は段ごとにセットバックし、手がかけやすい形状。ガラス戸で中が見え、認知症の方も選びやすい。



電話機

着信を光で知らせる機能や文字が見やすい画面で聴覚に不安がある方も安心して使える。



火災報知器(報知器連動型)

音声で火元をお知らせする。



健康器具

(血圧計、体温計、活動量計・歩数計)

健康管理アプリにて測定データを自動転送。過去の比較や平均値を自動計算するなどして健康管理が可能。



マグネットタップ

マグネット式で、足を引っかけてもすぐに外れて安全。人や物の転倒防止や機器の故障を防止できる。



緩衝フロア Aタイプ

転倒時に衝撃を吸収するフロア(寝室と比較できる)。



上肢動作補助用具

上肢の筋力低下や運動麻痺のある方のためにわずかな動きで動作をサポート。



高さ調整式テーブル

4枚の天板が個別に昇降し、体格に最適な高さに調整可能。



寝室 自分らしく動ける、見守りのあるやすらぎ空間

聴覚障害向け火災警報器(光・振動)

聴覚障害向け火災警報器火災警報器の作動を強力なフラッシュでお知らせ。寝具に振動子を設置して、振動でのお知らせも可能。



スマート加湿器

室温センサーの連動により自動で湿度をコントロール、または音声操作でオン・オフ可能。



床センサーライト

人の動きをセンサーで感知し、自動で点灯。夜間のトイレ移動等を安全にサポート。



緩衝フロア Bタイプ

転倒時に衝撃を吸収するフロア(ダイニングと比較できる)。



光除菌空気清浄機

「光除菌」技術で、菌やウイルスを元から分解して除去。空気中にはキレイな空気だけを出し、消臭能力も高い。



介護ベッド

ベッド操作アプリを使って、音声や入力スィッチでベッドの昇降や角度を調整できる。



布型離床センサー

人体の誘導率を検知することで、物と人体を判別し、離床を検知して通知。世界初の洗濯できるセンサー。



離床センサー

センサーが心拍とベッド上の動きを測定し、睡眠状態の異常を常時見守り。即座に異常を検知し、スマホに通知。



居室センサー

温湿度・明るさ・動きを検知し、起床・就寝時間と部屋の様子を見守り。AIが異常を検知してスマホへ通知。



スマートスピーカー②

周辺のICT・IoT機器を音声で操作、オンライン通話も可能。



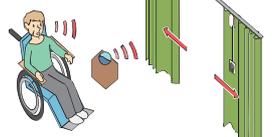
ベッドサイド水洗トイレ

ベッドのそばに設置できる水洗トイレ。においが気にならないうえ排泄物の後始末も不要。



スマートカーテン

スマートスピーカー、スマホや音声操作に加え、光センサーによって照度に応じた自動開閉が可能。



水まわり 洗面所を中心に浴室・トイレを1箇所にとまとめた開放的な空間

車いす対応洗面台

立位・座位、車いすでも姿勢を問わず使いやすい設計。



水洗トイレ

掃除がしやすい壁かけ便器。便スキャンセンサーで日々の便の状態を把握できる製品もあり。



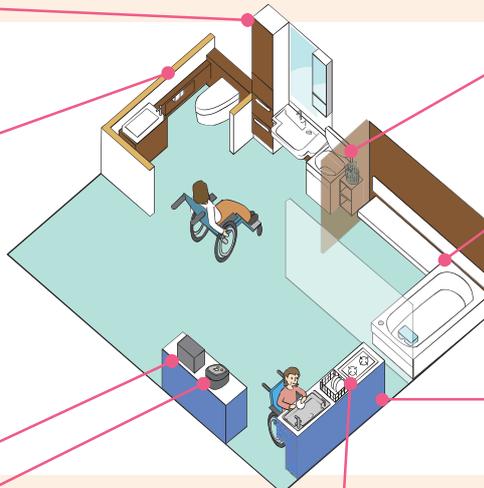
電子レンジ

ダイヤルを回して選ぶだけの簡単な操作で利用できる。手入れも簡単。



水まわりを1箇所にとまとめることのメリット

- 風通しがよく、光が入るので明るく開放感のある快適な空間になる。
- 隣接スペースを使って掃除などの家事の動作がラクになる。
- 空間をシェアすることで、将来の介助スペースが確保しやすくなる。



洗濯機

洗濯槽が浅く衣類を取り出しやすい。見やすく使いやすいボタン。



浴室

ベンチに座ったままスライドして、安全に浴槽に入ることが可能。床はわかりやすく滑りにくい。



キッチン

シンクに近づきやすい設計と、洗い作業がしやすい幅広シャワー。タッチレス水洗も設置可。



炊飯器

電光パネルで文字が見やすく、音声で操作をアシスト。



ガスコンロ

はっきりとした色使いで見やすく、音声案内にも対応。オレンジイノベーション・アワード2024特別賞受賞。



テクノロジー・からだの支援機器

専門職が、一人ひとりの身体の状態に合わせて用具の調整を行います。また、医療機関や施設の皆さまには、テクノロジーの活用方法についての相談にも応じています。



産学連携ラボ・ものづくり工房

大学や企業との連携のもと、最新の介護機器をご紹介します。また、「ものづくり工房」では、3Dプリンターを活用して自助具の製作や用具の改良を行い、より快適で自立した生活の実現を支援します。



認知症にやさしいデザイントイレ

認知症にやさしいデザインを取り入れたトイレ改修を実施しました。本改修は、北九州市で初めてとなる取り組みであり、すべての方にとって使いやすい公共トイレのモデルを目指しています。

施設内には、分かりやすいサインを各所に配置するとともに、便器や洗面台が見やすくなるよう壁面との色彩コントラストを調整しました。さらに、照度が不足する箇所には照明を追加するなど、快適で安心してご利用いただけるよう、随所に工夫を凝らしています。

改修前のトイレ



改修後のトイレ

